

◆当会の目標

当会は共生社会実現のため障がい者の外出機会を増やすこと外出環境を向上することユニバーサルデザインの考えに基づき誰もが住みやすいまちをつくることを主眼に車椅子利用者に特化した活動を進めている。

まだまだ問題点の残る車椅子を取り巻く環境について少しずつでも解決していくことが我々に与えられたミッションであり更に我々の活動が社会に普及されることを目標とする。

◆地域・まちづくりに貢献

車椅子利用者が積極的に外出することによりまちも活性化し一般人の理解も深まり共生社会も確立されていくと考え車椅子利用者の外出を積極的に応援する。

◆バッテリーステーションの開催

電動車椅子で外出機会が増えた車椅子利用者が次に直面する問題はバッテリー切れである。

普段の通勤、通学、介護施設への往復は満タン充電していれば十分であっても町歩き、公園散策、美術館、買い物食べ歩き等つい楽しい時を過ごしたときは知らないうちにバッテリーが切れ大変な事になってしまう経験は電動車椅子利用者なら誰もが経験済みと思う。

車の給油所やEV車の充電ステーションがたくさんあれば気兼ねなく外出が可能である。

今年度は世田谷区の障害者の祭典である「ふれあいフェスタ」においてバッテリーステーションを設置しフェスタ時間内のバッテリー貸し出し・充電・関連するサービスを行う。

どの位需要がありどの位便利なものかを確認しつつ次のステップに繋げたい。

◆今後の活動展望

・バッテリーステーションは単発のイベント時だけではなく大箱美術館, 大公園, 高尾山から六本木ヒルズ、スカイツリー等の大型ショッピング施設や観光施設設置を標準化したい。

・新タイプの電動車椅子の試乗会は積極的に行う。

・世田谷区障害施策推進課の取り組む「商店等における共生社会促進事業」に協力し段差解消簡易スロープの広報に取り組む

◆同時に必要なこと

①賛同企業募集 寄付募集

②ボランティア募集

◆NPO 法人車椅子社会を考える会の沿革

一級建築士の篠原は車椅子利用者の不自由さを実感、中途障害による引き籠もりも実に多く性能の向上した電動アシスト車椅子知ってもらうための試乗会や車椅子で世界を回る木島英登さんを講師に迎え世界の心のバリアフリー事情である講演会『心のバリアフリーってなに?』を開催また共生社会を知るための障害者旅行やイベントに参加。行政の出前授業、企業依頼の施設までのアクセス、使い勝手、サイン計画、アプリ、種々製品の検討、検証、体験モニターやコンサルティング施設のユニバーサルマップ作成の助言、新設施設のワークショップ参加、車椅子グッズ作成の検討等を行う。

活動は世田谷区を中心に都内全般、現在は車椅子利用者への検証依頼が多く車椅子会員を募集中